

**岡崎市総合計画説明会及び
岡崎市都市計画マスタープラン地域別説明会（岩津地域） 議事要旨**

日時	令和2年1月18日(日)10:00～11:00
場所	なごみん ホール
参加者	19名

1 開会

岡崎市都市計画課 鈴木係長の進行により開会

2 あいさつ

岡崎市都市計画課 新井課長から挨拶

3 各課説明

次期岡崎市総合計画に関する説明（企画課）

岡崎市都市計画マスタープラン（地域別構想まで）に関する説明（都市計画課）

4 質疑応答

質問者 1	・今回の都市計画マスタープランの説明は、2010年に策定された現行計画に基づいて説明しているのか。
岡崎市	・今回の説明は、改定案についての説明である。現行計画の策定から10年が経過し、社会情勢や人口動向等の変化を踏まえ、次の10年を見据えた計画の策定を進めている。
質問者 1	・奥殿学区は都市計画マスタープランの対象に含まれているのか。
岡崎市	・都市計画マスタープランは都市計画区域を対象としており、奥殿学区は都市計画区域内にあるため対象となっている。奥殿学区周辺については、既存の集落が存在する地区を農業保全地、森林が広がる地区を森林保全地と位置付け、農地や森林を保全し、自然環境の維持を図るものとしている。
質問者 1	・現況の整理にあるバス利用率について、岩津地区の中でもバスの本数が1日当たり2本しかない場所もあるなど実態とあっていないのではないか。
岡崎市	・現況の整理は岩津地域全体で整理しているため、印象と異なった値と感じられるかもしれない。公共交通についての具体的な計画については、別計画にて検討していく。都市計画マスタープランにおいては、実施する施策・事業として、「都心と地域間におけるバス交通の連携強化」などを記載している。
質問者 1	・都心部は整備が進みよくなっているが、郊外については変化していないと感じる。現行計画策定からの施策・事業の進捗について明確にする必要がある。
岡崎市	・奥殿学区周辺は、市街化を抑制し、自然環境や既存集落の維持・保全を図っていく区域である市街化調整区域に指定されており、開発行為等が原則制限され

- ている。地域にあった施策展開をしていきたい。
- 質問者 1
- ・郊外の過疎地域についても、具体的にどのような施策・事業を行うのか明確にしていきたい。できないのであれば、バス路線がない地域の市民については減税するなどの対策を検討していただきたい。
- 質問者 2
- ・実施する施策・事業について、計画に記載されているだけになってしまっているように感じるため、施策・事業の具体的な進め方や進捗について、当該区域の市民に対して定期的に情報発信を行う必要がある。情報発信を行うことにより、市民と行政が一体となって総合計画やマスタープランなどの各計画を推進することが重要である。
- 道路・公共交通については、総代会からバス停の整備による渋滞の解消や、歩行者・自転車の通行空間の確保などの整備を要望してきたが、実施されていない現状がある。また、北から来る市外からの観光客にも考慮した道路・公共交通の整備を行っていただきたい。
- 岡崎市
- ・計画実現に向けての取り組みや計画の評価・見直しの考え方などについては、今後、第4章「計画の実現に向けて」の中で示す予定である。
- 質問者 2
- ・保安林について、元の地形から住宅地が変わっているところもあり、指定時と環境が変化している。そのため、市内の保安林の実態把握を行い、今の環境にあった指定を県と協議していただきたい。
- 岡崎市
- ・担当している森林部局と情報共有する。

5 閉会のあいさつ

岡崎市企画課 岡田課長から挨拶

以上